

千代田俳句同好会

菊人形賢す刀や真田丸
友送り帰りは遠し秋の夜
真つ直ぐといふあやうきよ冬木立
潮風に位置定まらず冬雲雀
雲切れてくくん近き冬の月

福田妙子
山内勝昭
飯沼礼子
大塚隼人
大西周

紫陽花俳句会

木もれ日の昼餉味はふ葛紅葉
夕ぐれて山くろ黒ど秋深む
さつま芋焼けたと届く垣根越し
葛紅葉まつわる竹も切られけり

飯田功
久保慶悦子
車田きみ
萩原とし子

出島短歌会

うららかなまらぬ本を読みながら外の景色は秋から冬へ
秋晴れの空に消えゆく赤風船赤子泣く声知らぬふりして
海と空くつきり分ける地平線離れたものに届かぬ想い
風邪ひいて学校休んで一人きり思い出すのは友達の声

戸田慶
石塚和也
小松重矢美
上野なつき

投稿作品

年老いて生きる力の尊さを心に刻む佐久の大杉
さわさわと風に波うつ泡立草秋の気配を川面に映す
白菊の恩師は還る教室の彼の日の言葉今も心に
小さな神社で万歳三唱し見送った出征兵思い出す「駆けつけ警護」
水うまい空気も澄んで人を恋う
窓のし日溜りのむし吊し掃

石塚清
沽野はつ子
中島良平
菅谷味子
やまぐちいさむ
扶美世

▶投稿作品(俳句・短歌・川柳)を募集しています。1月3日(日)までに情報広報課(〒300-0192 大和町562番地)へお願いします。
なお、応募多数な場合には掲載されない場合がありますのでご了承ください。

秋の叙勲・茨城県表彰

桑原 和生 さん
秋の叙勲
瑞宝双光章



職員として38年教壇に立ち、その後は旧霞ヶ浦町教育委員会教育長として約4年間、教育に尽力された功労が認められ受章されました。「受賞できたことを大変うれしく光栄に思います。多くの方々からのご指導・ご鞭撻の賜物と感謝申し上げます。今後も、日々精進したいと思います」と受賞の喜びを話してくれました。

小松崎 正衛 さん
秋の叙勲
旭日单光章



島東部土地改良区理事長として11年の永きにわたり、土地改良区の運営ならびに土地改良事業推進のために尽力された功労が認められ受章されました。「このたびの受賞は皆さまのご支援のおかげと感謝しています。これからもこの榮譽に恥じぬよう日々精進したいと思います」と受賞の喜びを話してくれました。

菅野 治夫 さん
茨城県表彰
社会福祉の増進



年にわたり保育園の園長として児童の養護・教育および保育士の育成指導に尽力し、保育の資質向上に貢献された功労が認められ受章されました。「園児と保護者、保育士に恵まれ、自分の仕事に常に誇りを持ち精励してきました。素晴らしい賞に恥じないよう、これからも一生懸命頑張ります」と受賞の喜びを話してくれました。

真藤 実男 さん
茨城県表彰
産業の振興



商工会の役員として会の発展と地域商工業の活性化に貢献するとともに、多年にわたり地域商工業の振興に尽力された功労が認められ受賞されました。「このたびの受賞は、皆さまのご指導ご支援によるものと心から感謝しています。今後も行政や関係機関と連携しながら市内商工業の振興を図ってきたいと思っております」と受賞の喜びを話してくれました。

わがふるさと 史宝をたずねて

市民学芸員が行く

シリーズ⑥

る市もあつて活発な物資の売買にもかかわっていったと考えられます。

河岸とは

河岸とは、港の呼び名で単に荷を扱う船着場のみではなく、河岸問屋などを含めたその地域全体をいいます。幕末の霞ヶ浦では、高浜や土浦、柏崎、小川、今宿(麻生)、鉾田、江川、都賀、居合、大船津などが河岸の代表格でした。これらの河岸は、幕府がその距離と運賃を調査する河岸吟味の対象になりました。文政期の江戸近郊には200ほどの河岸があつたことは知られていますが、霞ヶ浦の河岸はその中でも数が多く、物流とともに人や文化の往来が盛んであつたことが分かります。



柏崎素鷲神社絵馬(柏崎 1587-16)

(深井 征一郎)

郷土資料館

☎029(896)0017

この絵馬のように柏崎は水陸交通の要衝で、応安年間の四十八津(港)や慶安3年の四十八津の一つに数えられた津でにぎわいを見せる港町であつたようです。現在の柏崎港から素鷲神社への直線道に位置する家々には、現在も屋号が伝えられており、さまざまな業種の方々が軒を連ねていた様子がうかがわれます。海夫と霞ヶ浦四十八津